

主催の示威運動は、最も多数組合員を擁する製鐵従業員組合の参加数僅か~~十~~名に~~過ぎ~~ず、從て製網労働小倉支部を主体となすものであるが、しかも其の組合員は不参加者懲罰或は甚敷は解雇せらるゝ等の事由に依り已むを得ず参加し居る者もあり組合員中メーデー反對の意嚮を有する者尠からざるの狀態にあるはメーデーに於ける氣勢の昂からざると共に注目すべき點である。

二、門司港に於けるメーデー

- 1、主催 日本海員組合門司支部
- 2、集合場所 門司市舊門司税關棧橋
- 3、集合時間 午前九時
- 4、参加団体並員數 四団体一五〇名
日本海員組合門司支部 八〇名

同 下關支部 二〇名

日本港湾従業員組合門司支部 四〇名

同 下關支部 一〇名

5、總指揮者 港湾従業員組合門司支部 杉山善太郎

6、示威運動の狀況

一、挨拶 杉山善太郎

潮流逆巻く關門海峡に北九州労働運動の歴史的な第一回海上メーデーを断行する。メーデーは萬國労働者の國際階級闘争日である、組織あり統制ある團結の力を示し無産階級解放の爲闘へ。

二、宣言文朗讀 海員組合門司支部 藤 幸 一

別紙の通

三、決議文朗讀 港湾従業員組合 石見源吉